

寅さん歩 その19

バーチャルウォークで

聖火を新国立競技場へ-19



(最終回)

平野 武宏

FWAホームページの「YR・四季の道」バーチャルウォーク コーナーに八柳修之さんのバーチャルウォーク(国内版) 歩いて健康バーチャルウォークのすすめ「沖縄から新国立競技場まで東京オリンピック2020の聖火コース(仮想)1685kmを2020年7月までに歩いてみませんか」が掲載されました。

かつては平野寅次郎の名で映画の寅さんのように全国のウォーキング大会を歩き、世界最大のウォーキング大会 オランダ国際フォーデーズマーチ(4日間で120km)を完歩しましたが、2018年1月に坐骨神経痛を発症し、足の痛みで自由に歩けなくなりました。治療やリハビリを重ね、現在は8~10km程度の散歩まで可能に回復しましたが、歩けない時は例会にも参加出来ず、悶々としていました。こんな時の光明がこのバーチャルウォークの提案でした。バーチャルウォークはリハビリの散歩の距離を累計してバーチャルコースのゴールに向かう、すぐろくのようなもので「ゴールするまでは健康でいなければ」との目標を持つ前向きな気持ちにさせる取り組みです。

先の長いゴールまで歩けるかの不安もありますが、その時は**駕籠に乗って**(ウォーキングの隠語で交通機関を利用)聖火を新国立競技場へ届けようと気楽に考えました。歩く地域について学びながら思いを巡らすのも楽しいですよ。寅次郎は歩きながら、昔、ウォーキングで訪れて通過した県の思い出や、映画「男はつらいよ」で寅さんが通過した県でマドンナと、どんな恋をしていたのかをお話しして来ました。

2018年(平成30年)10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、広島県、岡山県、兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、三重県、愛知県、静岡県、神奈川県を経て東京都に入り、2019年(令和元年)11月27日、日本橋(スタートから1644km地点)に到着しました。

八柳さんのバーチャルウォーク「沖縄から新国立競技場までオリンピック聖火コース(仮想)1685km」は日本橋に到着後、マラソンコースを歩いて新国立競技場がゴールです。

【東京 2020 オリンピックの

幻のマラソンコース】

1644Km～1685Km

バーチャルウォークのゴールは新国立競技場です。(右写真は 10 月 27 日撮影)

東京の酷暑を心配した I O C のマラソン・競歩は札幌へ移転決定との発言で、東京都の「合意なき決定」で I O C の意向通り、札幌開催となりました。蚊帳の外だった東京都知事や都民、難関のチケットが当たった当時は幸運なお方には悲劇ですよね。



幻のマラソンコースは新国立競技場をスタート、富久町西から飯田橋・東京ドームを左に見て、水道橋・神保町・須田町から日本橋が 10 km 地点、浅草橋から浅草寺雷門が 15km 地点、折り返して両国国技館から浜町中ノ橋・茅場町から銀座が中間点、西新橋から増上寺を折り返した先が 25km 地点、銀座から日本橋で左折し須田町が 30km 地点、35km 地点の神保町で左折、平川門の先で折り返し、日本武道館を左に見ながら最後の上り坂が最大の難所、40km 地点の富久町西から神宮外苑のいちよう並木を見ながら新国立競技場へゴール。神保町と日本橋は 3 度も通過する絶好の観戦ポイントでした。

2018 年（平成 31 年）10 月 1 日沖縄辺野古岬をスタートした「新国立競技場へ聖火を運ぶバーチャルウォーク」は 2019 年（令和元年）12 月 4 日ゴールです。430 日間、一緒に歩いていただき、ありがとうございました。健康ウォーキング記録帖のマスはすべて塗りつぶされました。完歩です！！頑張った自分を褒めたいと思います。お陰様で心配した足はかなり復調しました。



2020年（令和2年）7月24日の2020東京オリンピックの開会式に登場する聖火は寅次郎の他に、このバーチャルウォークに参加した方が運んだ聖火が集火されているはずです。

写真右は2019年（令和元年）9月14日オープンの「日本オリンピックミュージアム」前です。背景は11月30日完成した新国立競技場です。

計画より早くゴール出来ましたので、次回からは全国に展開される東京2020の聖火リレーコースを駆け足で紹介したいと思います。



ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。

ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

〔寅次郎がウォーキングで出会った人ー28〕

～ 歩いた後、カラオケを楽しんだ宿の仲間達 ～

全国のウォーキング大会での楽しみは歩くことだけではありません。

ツアー主催の大会は土・日曜日に開催なので、家から通えない場合やスタートの早いロングコースに参加の場合は前泊して2泊となります。

ツアーに申込み以外は自分で宿の手配が必要です。日本スリーデーマーチ

（3日間）のような大きな大会では主催者が体育館を素泊まりの宿（貸布団で雑魚寝）に提供して宿泊費の低減を配慮しています。風呂は外に臨時設置の簡易シャワー又は街の銭湯の利用です。歩く仲間達との交流や懇親を深めることを大事にしているベテランウォーカーの利用が多いです。

和澤潔さん（寅さん歩「官庁の食堂めぐり-6」をご参照ください）は毎回、体育館宿泊組でした。当時、全国大会参加の初心者の寅次郎は、交流や懇親も大事ですが、歩いた後、ゆっくりと体を休めることが出来る宿（特にお風呂やトイレ）が必要と考えました。

寅次郎、日本スリーデーマーチは1998年（平成10年の初参加）の際にFWAスタッフの猪股昭紀さん（寅さん歩「官公庁の食堂めぐり-8」をご参照ください）に連れて行ってもらい泊まった東松山市リコー研修所が気に入り、1999年から常宿にしました。

前年はそんな余裕がなく気がつきませんでした。宿の中にカラオケルーム（無料）を見つけました。

ウォークの後、風呂上がりに同室のFWAスタッフの福井正彦さん（寅さん歩「官公庁の食堂めぐり-13」をご参照ください）



と行くと、一番乗りでした。しばらくすると宮城・東京・千葉から参加のご夫妻が次々と来場し、外国人の参加もあり、カラオケで盛り上がりました。寅次郎の印象に残っているのは東北弁の宮城県の奥様とデュエットした「麦畑」です。翌日、コース上の交差点で皆さんとお会いした時に向こう側から「カラオケのお兄さん！」と大声をかけられてしまいました。皆さんとはその後の別の大会でも再会しましたが、宮城のご夫妻とは2008年（平成20年）の福岡県小倉の大会（寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-6」をご参照ください）でお会いしました。ご夫妻は出発式で特別ゲストの水前寺清子さんとの「檄（スタート前の掛け声）」に選ばれた、おしどりウォーカーと知りました。また、寅さん歩「官公庁の食堂めぐり」で八王子市に足を踏み入れた時に、東京のご夫妻は八王子在住で奥様は児童合唱団出身の美声だったことを思い出しました。寅次郎、物忘れが進む年頃ですが、楽しかったことはしっかりと覚えているのですね。

体育館の雑魚寝も神奈川県ウォーキング協会から応援の大会スタッフとして参加した時に体験しました。但し、1階の一般参加者とは別に2階のスペースに千葉県・神奈川県の応援スタッフと雑魚寝でした。やはり体は休めませんでした。その後、災害発生等で避難所として体育館を利用しているTVニュースを見ると、体育館で生活することの大変さが少しですが、わかる寅次郎です。

次回は 東京2020 聖火リレー1 です。

平野 寅次郎 拝